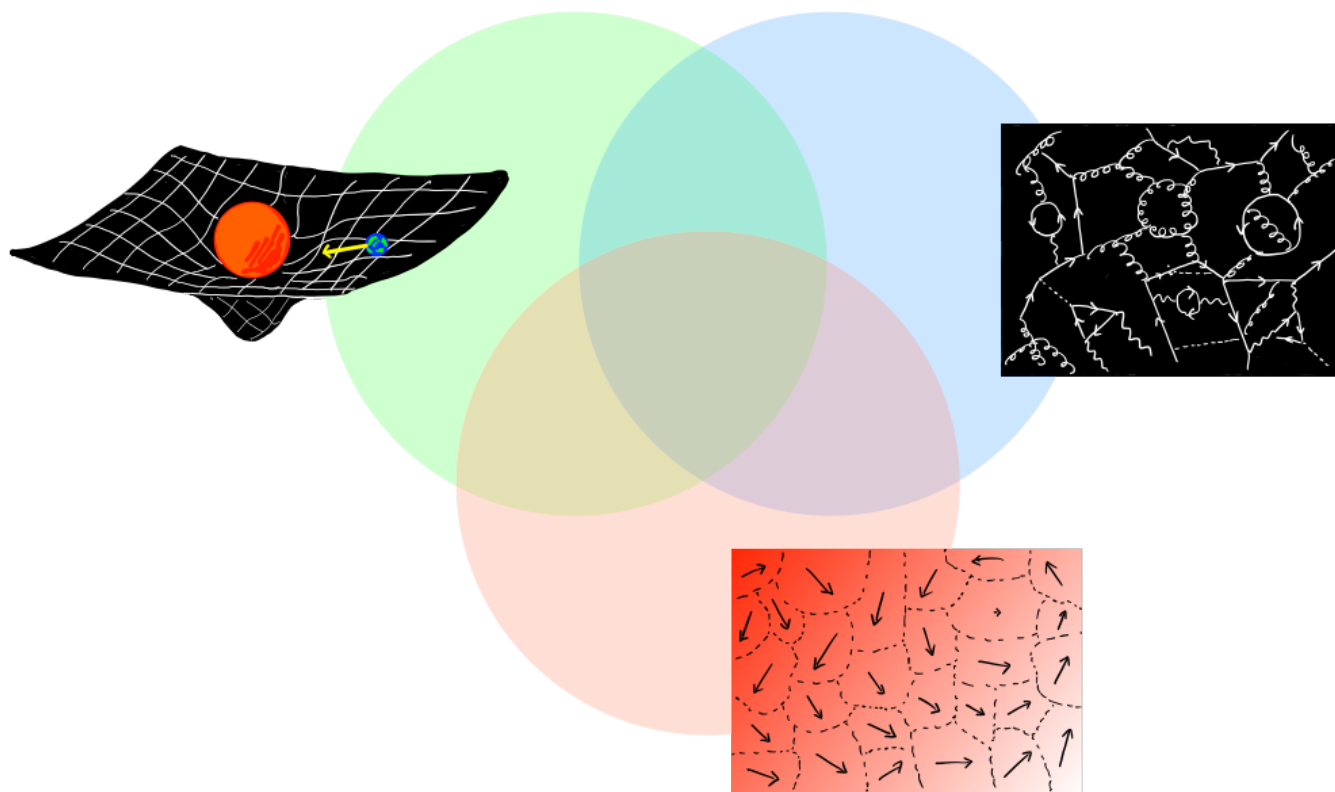


第125回理学部コロキウム

# 流体力学と曲がった時空の幾何学

理学部 物理学プログラム 本郷 優



**日時：9月28日（水）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）**

**場所：理学部B棟303講義室**

流体力学は身の回りにある水や空気などの運動を記述する物理理論として、オイラー、ナビエ、ストークスらによって、19世紀中にはその理論的定式化がほぼ完全な形で与えられた。一方、20世紀初頭にアインシュタインは「重力の運動法則」を記述する物理理論として、一般相対性理論の定式化を与えたが、その理論的予言である「重力波」の直接検出が2016年に実現したことで、「重力は曲がった時空の幾何学により記述される」という一般相対性理論が実験的にも確かめられた。このコロキウムでは、このような「流体力学」と「重力理論」という一見まったく関係なさそうな理論の背後にある類似性を解説し、近年の「流体力学の理論的研究」に関する進展について紹介したいと思います。

問い合わせ先：井筒ゆみ (izutsu@gs.niigata-u.ac.jp)